

指定管理者評価シート

事業名	地域コミュニティ施設運営管理費	所管課(電話番号)	西区市民部地域振興課(641-6926)
-----	-----------------	-----------	----------------------

I 基本情報

1 施設の概要			
名称	札幌市西野地区センター	所在地	札幌市西区西野4条2丁目8番30号
開設時期	平成4年5月17日	延床面積	1,529.48㎡
目的	地域住民のコミュニティ活動の助長及び生涯学習の普及振興を図り、もって地域住民の福祉の増進に寄与する。		
事業概要	(1) 各種講習会、講演会等の開催、体育、各種野外活動等のレクリエーション活動の推進、その他必要な事業を行うこと。 (2) 一般の使用に供すること。		
主要施設	ホール(体育室)、娯楽室(2室)、集会室(2室)、和室(2室)実習室(調理室)、図書室		
2 指定管理者			
名称	札幌市西野地区センター運営委員会		
指定期間	令和5年(2023年)4月1日～令和10年(2028年)3月31日		
募集方法	非公募 非公募の場合、その理由：当センターが、地域社会に関係の深い団体によって継続的に管理運営されることにより、地域住民がまちづくり活動に直接参加する機会が作られ、地域住民自らがセンターの管理運営を通して把握された地域課題の解決に取り組むことによって、地域住民間の信頼関係が築かれ、地域社会における絆の強化につながることとなる。また、まちづくり活動の担い手の育成に寄与することも期待される。このようなことから、設置目的の実現のために、地縁による団体により設立された団体及び当該設立された団体を主な構成員とする団体並びに当センター等の管理運営に関わりを持つものと市長が認める地縁による団体の推薦を受けた団体により、現に良好な管理運営が行われている場合には、継続的に管理運営を行わせるために非公募としたもの。		
指定単位	施設数：1施設 複数施設を一括指定の場合、その理由：		
業務の範囲	(1) 統括管理業務 (2) 施設・設備等の維持管理に関する業務 (3) 事業の計画及び実施に関する業務 (4) 施設の利用等に関する業務 (5) 前各号に掲げる業務に付随する業務		
3 評価単位	施設数：1施設 複数施設を一括評価の場合、その理由：		

II 令和6年度管理業務等の検証

項 目	実施状況	指定管理者 の自己評価	所管局の評価
1 業務の要求水準達成度			
(1)統括管理業務	▽ 管理運営に係る基本方針の策定 平成26年度の「札幌市の公共施設のあり方に関する提言」に沿った理念のもと、コミュニティ施設としての役割を果たすため、以下の通り運営方針を策定した。 西野地区センターは「笑顔があふれ心のふれあう豊かなまちづくり」に寄与するため、 1 地域文化の情報が得られ、発信する場として 2 はばひろい生涯学習の機会が得られる場として 3 地域住民がふれあい、自主的な活動が促進される場として コミュニティ施設の効用を高め、更なる地域への浸透を図ることを運営の基本とした。	・施設の効用を最大限発揮し、札幌市の公の施設であることを常に念頭に置き、施設の設置目的に資するようサービス水準の維持向上に努め、安定的な管理運営及び透明性の確保を第一とした。 ・求められる市民ニーズが変化している中でも、皆、等しくサービスが受けれるよう公平・公正の確保に努めた。 ・利用者の理解と協力を得ながら、職員全員の共通認識の下、地球温暖化対策及び環境配慮の推進に努めた。	A B C D
	▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績 「札幌市市民センター条例」等を十分に理解し遵守することはもとより、年齢構成の違いや、子育て、障害のある方のニーズなど、多様化する地域ニーズへの細やかな対応により、利用の公平・公正を確保したことで、新規利用の幅を拡大することができた。		基本方針に基づき、適切に管理・運営が行われており、要求水準を満たしている。
	▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進 札幌市の環境方針に従い実践した。特に西区においては、SDGsの視点も踏まえながら環境配慮の取り組みを推進している区でもあるので、組織をあげて実現に向け取り組んだ。 ▼電気、ガス、水道の使用は日頃から節約に努め、使用していない貸室の消灯及び冷暖房の使用停止の徹底、設定温度の管理は札幌市に準じた省エネ対策を実施するなど、利用者の理解と協力を得ながら進めた。 ▼清掃用洗剤やトイレトーパー等の見直しを行ったところ、環境負荷の少ない製品である上に、節約にもつながった。 ▼小学生の社会見学の際には、実際に取り組んでいる話を盛り込むなどして、環境問題に関する啓発・教育活動の推進に努めた。 ▼札幌市環境マネジメントシステムに則り、各種帳票を提出した。		

▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成)

- ▼4月に統括責任者の交代があり、札幌市など関係団体との窓口はこの統括責任者に一元化した。
- ▼業務分担、指揮命令系統、連絡系統等を整備し、円滑な管理運営体制の維持に努め、適正な事務執行と責任体制の確立を図った。
- ▼職員体制の強化としては、清掃業務を行う交代制のパート職員を新たに1名雇用し、2名体制から3名体制にすることで雇用環境を整備した。
- ▼職員の人材育成については、研修計画に基づき職員研修を実施している。

- ・組織の確立については、業務仕様書に基づき適切に対応した。
- ・交代制勤務による弊害が出ないように、職員間の情報共有を心掛け、情報伝達が不十分にならないように意思統一を図った。
- ・職場外研修の参加を積極的に行い、職員のモチベーション向上を促した。

▽ 管理水準の維持向上に向けた取組

- ▼一層の利用促進を図るため、利用者アンケートや市民からの意見を参考に、日常的に業務の見直し改善を行っている。
- ▼交代制勤務における事務引継ぎを徹底させるため、引継簿の様式等を改善し組織内の情報共有に努め、利用者に対し迅速かつ効率的に対応すべく体制づくりを行っている。
- ▼館内の清潔さと衛生環境を維持し、快適な貸室環境を提供するため、日常の清掃業務は第3者に委託せず当センターが雇用する職員で行っており、細部に行き届いた清掃は高い評価を得ている。

- ・職員間の情報共有と柔軟な対応が管理水準の維持向上を図ることができた。
- ・新型コロナウイルス感染症が5類移行後も緩和策を取り入れながら感染対策を実施し、職員の健康管理も配慮している。

▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認)

札幌市の承認を得て、主に設備の保守点検業務に関して第三者に委託して実施している。受託者に対しては責任者や指揮命令系統を明確にさせ、業務に関連する労働関係法令の遵守を指導するとともに、随時、検査・履行確認を的確に実施している。

- ・すべての業務において、業務仕様書に基づき適正に業務が確保された。

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催)

開催回	協議・報告内容
第1回 7月31日	【運営協議会】 ・委員の変更について ・第1四半期の業務報告 ・今後の主な事業・行事等予定 ・利用者アンケート結果に対する対応について
第2回 10月24日	【札幌市・指定管理者(館長会議)】 ・第2四半期の業務報告 ・各施設の課題等の情報共有 ・西区からの連絡事項
第3回 1月23日	【札幌市・指定管理者(館長会議)】 ・第3四半期の業務報告 ・各施設の課題等の情報共有 ・西区からの連絡事項
第4回 3月17日	【運営協議会】 ・第4四半期の業務報告 ・貸室利用料金の改定について ・6年度事業実施状況報告 ・利用者アンケート実施について
<協議会メンバー> 西町連合町内会顧問、西野連合町内会会長、利用者団体(札幌中国武術協会西野サークル役員)、利用者団体(NPO法人HRC代表)、札幌市西区地域振興課長、西野地区センター館長	

・会議では、事業報告や利用者アンケート報告、指定管理者業務に係る重点課題等について意見交換や協議を行った。運営協議会の協議内容については、施設内に掲示し、広く利用者に周知している。

・業務の遂行にあたっては、関係する地元町内会や団体と連絡調整を行い、身近な施設として良好な関係維持に努めている。

▽ 財務(資金管理、現金の適正管理)

現金出納簿、その他必要な帳簿を備え、収入・支出決定書等所定の帳票を用いて、正確かつ迅速な現金・預金管理事務に努めた。また、会計ソフトを導入して、毎月総勘定元帳や合計残高試算表を出力して、現金・預金との精査照合を行うとともに、資金管理・経理執行全般について、顧問税理士の指導・検査を受け、正確かつ公正な財務事務処理を行っている。

なお、資金管理については、指定管理業務、自主事業ごとの区分経理を実施している。

・資金管理については、顧問税理士による点検・確認を得て正確性を期したうえで、運営委員会の監査を受けている。

	▽ 要望・苦情対応 ▼要望、苦情等があった時は、個人情報の取り扱いには十分留意したうえで迅速に対応し、職員間で情報共有している。 ▼匿名で意見や要望を提出できる箱を設置し、問題の早期発見、改善を促進するために利用している。 ▼札幌市に対する要望・意見や、札幌市の判断を要する案件は速やかに報告・相談し、その指示に従っている。 ▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施) ▼業務の実施に関する記録書類・帳簿等を整備し、保管、管理している。 ▼利用者アンケートを年度末に実施し、調査結果は館内に一定期間掲示している。 ▼利用者アンケートとは別に、講座、事業の終了時にもアンケートを実施し、理解度や満足度を測り、今後の企画・立案に役立てている。 ▼札幌市の各種検査・監査について、誠実に対応している。	・利用者に倒して親切・丁寧な対応に努めており、苦情・要望があった際は、迅速な対応を心掛けたことにより大きなトラブルになることはなかった。 ・管理業務に関する帳簿等を整備し、札幌市に定期的に報告するとともに、業務監査を受けているが、6年度において改善等に係る指摘はなかった									
(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上	▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上(事故の有無などの安全衛生面を含む) ▼職員に対し、最低賃金1,010円(令和6年10月1日発行)を上回る時給を支給した。 ▼職員の身分及びサービスに関する事項は、労働基準法その他法令の定めにより、就業規則及び同運用規則、育児・介護休業規則、妊娠・出産・育児休業等に関するハラスメント及びセクシャルハラスメントの防止に関する規則を規定し遵守している。 ▼職員に、時間外労働又は休日労働させる場合は、書面による労使協定(36協定)により必要な定めをし、労働基準監督署に届け出た。 ▼全ての労働者を労災保険に、条件を満たす労働者を雇用保険に加入させた。 ▼労働者の勤務形態、家族状況等に応じて年金保険、医療保険に適切に加入させた。また、必要に応じて適切に届け出等を行った。 ▼定期健康診断を実施し、職員の健康管理に努めている。 ▼労働基準監督署からの行政指導を受けなかった。 ▼ワーク・ライフ・バランスの取組に関して適切に実施し、適宜、職場環境の改善に努めている。 ▼職員体制の強化を図るため、交代制による清掃のパート職員を新たに雇用し、職員の負担軽減を図っている。 ▼労働災害はなかった。 ▼計画的に休暇が取得できる環境づくりをしている。	・労働関係法令を遵守し、職員の職員の雇用関係の維持に努めた。	<table border="1"> <tr> <td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr> <tr> <td colspan="4">関係法令を遵守し、雇用環境の維持及び向上に努めている。</td></tr> </table>	A	B	C	D	関係法令を遵守し、雇用環境の維持及び向上に努めている。			
A	B	C	D								
関係法令を遵守し、雇用環境の維持及び向上に努めている。											

(3)施設・設備等の維持管理業務	▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入)		A B C D
	▼利用者の安全確保について、緊急連絡網の整備・火災発生時・緊急時の避難経路の確保及び消防設備点検の励行などを通じ、非常時に備えている。 ▼事務室内の火災受信機器、防災盤の使い方について、日勤、夜勤問わず全職員に周知し、非常時における各自の役割分担を明確にしている。 ▼来館者の緊急時の救命措置のためAEDを備え、玄関、受付窓口に設置マークを表示している。 ▼施設周辺及び施設内に段差が多くあり、利用者には、高齢者が多いため、通路、玄関の安全確保に細心の注意を払っている。 ▼損害賠償保険は仕様に適合したものに加入し、不測の事故に備えている。 ▼拾得物の取り扱いについては、事務室内等に保管し、落とし主に返還している。現金等貴重品については、その都度警察に届けている。 ▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等) ▼清掃業務に関しては、年2回、床のワックスがけの他、窓ガラス清掃等を第三者に委託し、日常の、施設内及び建物周辺の清掃は自前の職員により実施し、施設の快適な環境・衛生環境を維持した。 ▼夜間警備業務に関しては第三者委託により実施し、夜間巡回警備員による巡回と機械警備により、夜間のセキュリティ対策を確保した。 ▼自家用電気工作物、建築基準法法定点検、消防設備、エレベーター、ボイラー、舞台装置及び自動ドアの館内設備の保守点検業務については第三者委託により実施し、業務日報や検査報告書等で適切に実施されていることを確認し、仕様書の水準を維持した。 ▼修繕に関しては、利用者の安全確保や利便性を損なうことなく、劣化や損傷を最小限に抑えることに努め、予算の範囲内で可能なものについては速やかに修繕を行った。 6年度においては、ホール排煙窓、駐車場フェンス、集会室ブラインド、トイレドア等を行った。 ▼備品に関しては、利用者の利便性を損なうことがないように日頃から点検し、不具合が生じた場合には、予算の範囲内で早めに修繕を実施又は耐用年数により新しいものを購入することで利用に支障をきたすことはなかった。 6年度に購入した備品は、スタッキングチェア100脚、テーブル10台、大型壁面鏡、エアコン2台(札幌市から補助あり)等 ▼緑地管理に関しては、美観の保持、利用者の安全、防犯及び近隣への配慮を心掛け、剪定、除草、病虫害防除、冬囲いを適切に実施するため第三者委託により実施しているほか、職員による日常の点検に努めた。 ▼駐車場の除排雪業務に関しては、12月～3月の間、利用者の利便性を考慮し、一定の降雪量がある場合に第三者委託により実施した。	・利用者の安全確保には万全の注意を払っており、定期的に館内及び建物周辺を巡回して、危険個所の早期発見と事故防止努めた。事故もなく、安心・安全な環境の下で利用に供することができた。 ・専門的な管理業務技術の活用により、利用者も安全確保を最優先に、施設の自主点検に努めたほか、定期的な保守点検により、良好な管理環境を確保することができた。 ・修繕・備品管理に関しては、当初予算を超えて利益還元ができた。	要求水準が満たされており、適切な施設・設備等の維持管理業務が行われている。

▽ 防災

▼防火管理者の交代に伴い、必要な講習を受講した。
▼計画に基づき、6月に自営防災訓練を、消防設備点検業者を講師に行った。
▼各種研修会に派遣するなど所定の防火・防災の取組を行った。
▼AED(自動体外式除細動器)の日常点検に努めた。

・自衛消防訓練や各種研修会の参加により、防災知識が深まるとともに、防災に対する意識の向上を図った。

(4)事業の計画・実施業務

▽ 区民講座に関する学習機会の提供業務

▼当初計画13講座から4講座多く実施し、実施回数、参加数ともに昨年度を大きく上回って開催することができた。

(1) 計画と実績

区分	R5実績	R6計画	R6実績	達成率
課目数	13	13	17	130.8%
回数	67	60	86	143.3%
定員又は受講人数	201	221	327	148.0%

(2) 応募状況と受講者の満足度

講座名	回数	募集	受講者	参加率	理解度	満足度
運動会応援企画かけっこ集中講座①	1	20	17	85%	100%	100%
運動会応援企画かけっこ集中講座②	1	20	11	55%	90%	90%
ヨガ講座ベーシッククラス	7	20	26	130%	94%	100%
ヨガ講座リフレッシュクラス	7	20	14	70%	100%	90%
ファット・バーニング～脂肪燃焼～	8	25	28	112%	100%	100%
3B 体操講座	4	10	10	100%	100%	88%
女性のための健康麻雀	4	16	21	131%	94%	100%
うたごえ講座	3	20	18	90%	70%	100%
ヨガ講座ベーシッククラス②	8	20	27	135%	90%	100%
ヨガ講座リフレッシュクラス②	8	20	16	80%	92%	92%
ファット・バーニング～脂肪燃焼～②	8	25	32	128%	95%	100%
簡単！包丁研ぎ教室	1	5	5	100%	100%	100%
タッチケア体験講座	1	12	12	100%	100%	83%
ヨガ講座ベーシッククラス③	8	20	31	155%	92%	100%
ヨガ講座リフレッシュクラス③	8	20	13	65%	80%	90%
ファット・バーニング～脂肪燃焼～③	8	25	34	136%	82%	100%
映えるサンドイッチ講座	1	12	12	100%	100%	92%
小計(17講座)	86	310	327	104%	93%	96%

・定員を超える人気の講座を年度途中で追加し、計画より4講座多く実施したことで、前年度より120名ほど多い参加があり、利用者に好評を得た。

・すべての講座について、理解度、満足度ともに高い評価を得ることができた。
・「女性のための健康麻雀」講座は、講座を通して既存のサークルに合流し、「映えるサンドイッチ講座」は、新たに、異文化をテーマにするなどしたお料理サークルを結成し、継続利用に利用に繋げることができたことは、市民ニーズに応える企画を提供できたものと考えらる。

A	B	C	D
---	---	---	---

区民講座について、理解度、満足度ともに高水準であり、課目数や回数、定員又は受講人数も高い達成率となっている。他事業についても概ね計画どおり実施できている。

▽ 地域住民の交流等を目的とした事業に関する業務

(1) 計画と実績

区分	R5実績	R6計画	R6実績	達成率
事業数	5	7	8	114.2%
回数	5	7	8	114.2%
参加者数	537	660	601	91.6%

(2) 主な事業の参加状況

事業名	回数	募集	参加者	来場者率
大人の映画会	1	25	26	104%
第30回文化祭	1	300	452	151%
作品展示会			297	
帯結び無料体験会			12	
舞台発表会			158	
DVD鑑賞会			14	
小学生のためのクリスマス会	1	20	10	50%
新春書初め展示会	1	50	29	58%
第30回バレーボール大会	4	50	52	104%
小計(8事業)	8	445	1,050	93%

・幅広い年齢層や多種多様なニーズに応えた地域交流事業を実施することができた。参加者数は計画の91%であったが、前年度に比べると110%を超える来場者数であった。

・文化祭は作品展示と舞台発表会を別日に実施。障がい者施設の椎茸販売や、キッチンカーを配置するなどして賑わいをみせた。

・クリスマス会は、外国人講師による日本語を使わない英語のみで子どもたちと楽しんだ。インフルエンザの流行により当日のキャンセルで半分の人数であったが、参加者からは非常に好評であった。

▽ 地域の憩いの場づくり施設活用事業(無料)に関する業務

事業名	R5実績		R6実績	
	開放日数	利用者数	開放日数	利用者数
囲碁	13	13	50	656
バレーボール	14	201	12	215
ミニバレーボール	16	211	12	160
ソフトバレーボール	13	190	13	208
バスケットボール	12	124	12	298
卓球	16	64	12	49
バドミントン	11	67	12	23
親子の日	13	148	12	257
夏休み特別開放 親子の日	2	11	4	76
冬の自習スペース	16	27	14	45

・幅広い区民の交流の場として、囲碁は月4回、スポーツ系は各種月1回開放している。

・バスケットボールの利用が増えており、親子の日のバスケットボールと合わせると、ホール利用の半分を占めている。

・自習スペースについては、今後、冬だけではなく、夏についても開放したいと考えている。

・有料利用を優先しながら実施しており、適正な実施が図られた。

▽ 図書室業務

(1) 利用状況

区分	R5実績	R6実績	増減率
開館日数	280日	279日	0.99
蔵書数	35,627冊	35,146冊	0.98
登録者数	2,142人	2,256人	1.05
貸出数	82,689冊	79,917冊	0.97
相互貸借件数	31件	14件	0.45
レファレンス件数	1,148件	953件	0.83

(2) 利用促進事業

年間行事関連資料の展示 13件
 話題の展示 10件
 通年展示 3件
 室内装飾を季節や年間行事に即して実施 6件
 おはなし会等 5件

・登録者数のうち、新規登録者は412人で、特に児童の登録が増加している。これは、子供向けの企画や、小学校の施設見学の際に図書室に興味を持ってもらう取組に努めた効果であると考え
 る。
 ・貸出数、蔵書数は若干減少しているが、引き続き、利用者に関心を持ってもらう取組を計画していきたい。

(5) 施設利用に関する業務

▽ 利用件数等

		R5年度実績	R6年度計画	R6年度実績
ホール	件数(件)	884	892	917
	人数(人)	19,443	19,637	20,699
	稼働率(%)	68.4	69.4	71.3
集会室	件数(件)	995	1,009	1,144
	人数(人)	8,777	8,908	11,111
	稼働率(%)	45.3	45.9	51.5
娯楽室 和室	件数(件)	1,669	1,694	1,745
	人数(人)	10,893	11,056	12,078
	稼働率(%)	39.0	39.5	40.6
実習室	件数(件)	310	314	350
	人数(人)	2,219	2,252	2,839
	稼働率(%)	29.6	30	32.8
全 体	件数(件)	3,858	3,915	4,156
	人数(人)	41,332	41,951	46,727
	稼働率(%)	43.1	43.7	46.2

▽ 不承認0件、取消し0件、減免0件、還付12件

▽ 利用促進の取組

・講座受講者等へのサークル化の呼びかけを都度行った結果、新しく2つのサークルが発足し、利用継続につなげるなど新規獲得に努めた。
 ・文化祭や地区センターだより、ホームページでのサークル紹介等を活用し利用促進に努めた。
 ・施設活用事業(無料開放)や冬休みの自習スペースの開放等を活用しPRを行った。
 ・ホールの時間貸しの収益が大きいので、隙間時間を活用した新たな利用者の掘り起こしを行った。

・5年度に比べて合計で利用件数は約300件増、利用者数は約5,400人増となり、稼働率は3.1ポイント上昇した。併せて、利用料金収入も前年比で伸びた。
 ・ホールの稼働率が70%を超えたのは、時間貸しの利用促進を図った成果であると考えている。
 ・講座受講からサークル化へ繋げることで利用促進に繋がった。
 ・7年度においては、使用料金が改定となるため稼働率が下がることも懸念される。恒常的な利用につながる魅力のある事業を展開し、利用促進に努めていきたい。

A	B	C	D
---	---	---	---

新型コロナウイルス流行後は、サークル数の減少等により以前に比べて稼働率が低下しているが、近年は再び上昇傾向となっている。引き続き利用促進に向けた取組みに期待する。

(6)付随業務	▽ 広報業務	・情報の取得媒体は地区センターだよりが一番多かったが、6年度よりホームページを一新しているので、今後もホームページの内容充実を図り、PR強化を図りたい。 ・当センターの利用者は高齢者が中心であるので、紙媒体への掲載依頼を積極的に行った。 ・今後も、ウェブアクセシビリティの確保に努めていきたい。	A	B	C	D
	▽ 引継ぎ業務		ホームページ等を活用しつつ、適切に実施されている。			
2 自主事業その他						
▽ 自主事業		・利益は殆どでないが、利用者の利便向上に貢献した。	A	B	C	D
▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等			地域の企業の積極的な活用に努めているほか、福祉施策にも取り組んでいる。			

3 利用者の満足度

▽ 利用者アンケートの結果

実施方法

実施時期 令和7年3月
配布数300人
回答者261人

▼性別							
総数	男性	女性	無回答				
261人	50人	173人	38人				
100.0%	19.2%	66.3%	14.6%				
▼年齢							
総数	20未満	20代	30代	40代	50代	60代	70以上
258人	5人	2人	10人	24人	35人	42人	141人
100.0%	1.9%	0.8%	3.9%	9.3%	13.5%	16.2%	54.4%

結果概要

回答者の8割は近隣住民であった。

西野	平和	福井	山の手	西町	宮の沢	その他
50.6%	10.0%	6.6%	7.5%	3.3%	2.9%	19.0%

利用目的

サークル	図書室	無料開放	講座/イベント	その他
58.3%	19.4%	11.3%	7.1%	3.9%

利用の満足度	5段階評価				
	←良い				悪い→
	5	4	3	2	1
総合満足度	38.0%	36.7%	24.0%	0.9%	0.5%
職員接遇は	45.8%	24.0%	28.4%	1.3%	0.4%
館内設備は	42.7%	30.2%	24.4%	1.8%	0.9%
清掃状況は	46.5%	32.0%	19.3%	1.8%	0.4%
貸室利用したいか	44.2%	38.0%	9.6%	8.2%	0.0%
図書室利用したいか	40.2%	25.8%	12.4%	21.1%	0.5%

・先の通り、概ね高い評価を得たが、今後もより一層市民サービスの向上に努めたい。

A B C D
各項目において高い水準の評価が得られている。

利用者からの意見・要望とその対応	全室にエアコンが欲しい、付けるべき	R6年度2台設置し、7年度は2台設置します。予算の範囲内で順次計画的に設置していきたいと考えております。
	椅子を高く上げるのは危ないので、置き方を工夫してほしい	順次、軽量の椅子に更新をしておりますが、限られた収納スペースのためご迷惑をおかけし申し訳ありません。収納を工夫したいと思います。
	ホールの床が滑る	ワックスがけの回数を増やしながら対応しておりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。
	ホールの掃除用具に掃除機が欲しい	コードレスタイプの掃除機を購入予定です。
	利用料金が少し高いかと思えます。(賃料金)	R7年7月から使用料が改定されます。施設を維持するための経費が大幅に増えているため、将来にわたって安定的なサービスを提供するためにも、ご理解のほどよろしくお願いします。
	使用料を値上げしないでほしい	同上
	いつもありがとうございます。気持ちよく使わせていただいています、	ありがとうございます。ご利用される方々に喜んでいただけるよう努めてまいります。
	近くに年寄りが通える場所があるのはうれしい。	ありがとうございます。ご高齢の方でも使いやすい施設を維持できるよう努めてまいります。
	ピアノを設置してほしい	現状、予算も含めて、設置できるスペースを確保できない状況にあります、ご理解のほどよろしくお願いします。
	特にはありません。これからもよろしく願います。有難く利用させて頂いております。	ありがとうございます。ご利用される方々に喜んでいただけるよう努めてまいります。
	毎年同じアンケートを書いているが改善が見られない。アンケートの意味がないのではないか。	ご意見ありがとうございます。ご利用される方に満足していただけるように改善に努めてまいります。

図書以外の職員の態度が悪い。
いやいや仕事している感じ。本当に感じ悪い。

せっかくご利用いただきましたのに、不快な思いをさせて申し訳ありません。ご指摘を真摯に受け止め、改善に努めてまいります。

4 収支状況

▽ 収支 (千円)

項目	R6年度計画	R6年度決算	差(決算-計画)
収入	36,573	41,066	4,493
指定管理業務収入	36,543	41,028	4,485
指定管理費	26,880	26,880	0
利用料金	8,918	11,233	2,315
その他	745	2,915	2,170
自主事業収入	30	38	8
支出	36,438	44,444	8,006
指定管理業務支出	36,434	44,427	7,993
自主事業支出	4	17	13
収入-支出	135	▲ 3,378	▲ 3,513
自主事業による利益還元			
法人税等			0
純利益	135	▲ 3,378	▲ 3,513

【参考】	R6年度決算	内容
指定管理業務による利益還元	4,184	下記のとおり

・利用料金収入、及び講座収入については、利用促進の取組成果があり、増収とすることができた。
 ・指定管理業務における余剰金を、利用者の要望に応えるため、備品購入等の形で還元することができた。
 ・内部努力による経費節減に努めたことにより、余剰金の大半を修繕費や備品購入費に充てることができた。
 ・資金管理は、税理士に委託し、客観的に確認を行っているため、正確を期した管理運営を行うことができた。

A B C D
 単年度で見ると収支は赤字となっているが、過年度の剰余金から多額の利益還元を行っているものであり、安定した収支状況を継続してきた結果の表れと言える。

▽ 説明

- ▼利用料金収入は、貸室の稼働率アップ、特にホールの「時間貸し」に鋭意取り組んだ結果、計画を大幅に上回る2,315千円の増額となった。
- ▼その他収入とは、光熱費高騰や修繕に伴う札幌市からの補填と、講座収入によるもので、講座収入については、年度途中で講座開講数を増やしたことで、426千円の増収につながった。
- ▼自主事業収入は、自販機の販売手数料だが、昨年度に比して微増だが8千円の増収であった。
- ▼指定管理業務支出は、計画に比して7,993千円の増となっているが、これは、建物の老朽化に伴う修繕費(1,153千円)や、備品を更新(4,690千円)したことによるもので、その費用は前年度からの剰余金を充当している。
- ▼自主事業支出は、自販機設置に伴う行政財産目的外使用料の17千円である。
- ▼利益還元は、スタッキングチェア100脚他1,969千円、壁面鏡456千円、会議用テーブル10台550千円、エアコン2台1,125千円(補填あり)、サーキュレーター6台83千円等の購入に使用した額である。
- ▼収支は差引き3,378千円の単年度赤字となった。

<確認項目> ※評価項目ではありません。

▽ 安定経営能力の維持

- ▼財政状況は、利用料収入、講座収入が安定しており、加えて、経費の節減に努め支出を抑制しており、安定経営の基盤が整っている。

適 不適

▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応

- ▼各条例の規定に則り、すべて適切に対応した。
- ▼協定に関する契約(第三者への委託、物品調達等)について、暴力団員や暴力団関係事業者を相手に契約を行わなかった。

適 不適

Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	次年度以降の重点取組事項
▼指定管理業務全般にわたり、札幌市の公の施設であることを常に念頭に置き、サービス水準の維持向上に努め、安定的な管理運営及び透明性の確保を第一としたことは、管理業務仕様書の要求水準を満たすことができたと考えている。 ▼利用料金収入及び講座収入は目標を上回るなど、安定した収入を確保できたことで、備品購入費などの形で積極的に利益還元することができた。 ▼施設の老朽化により設備関係を中心に修繕が必要な箇所が多く発生したが、利用者の利便性を考え、速やかに補修し利用に支障をきたすことはなかった。設備環境や衛生面に配慮したことで、稼働率の増加にも繋がったと考えている。 ▼要望の多かった暑さ対策についても、予算の範囲内で計画的な実施に努めることができた。 ▼利用者アンケートでは、職員の接遇、館内設備、清掃状況について、昨年度よりも高い評価を得ることができた。 ▼労働環境の整備として、交代制による清掃パート職員を2人体制から3人体制とし、職員の負担軽減と雇用環境の整備を図った。	▼引き続き、札幌市のコミュニティ施設として公平・公正な運営に努めるとともに、地域に親しまれる施設づくりを目指す。 ▼令和7年7月の施設の利用料金改定により、特にホールの利用率が低下することが懸念されるので、何か付加価値をつけることを検討し、安定的な稼働率確保に努める。 ▼人気講座の継続とともに、各年齢層に対応した講座を企画し、新たな受講促進と、加えて、貸室利用につなげるため、講座を通じたサークル化を支援したい。 ▼施設設備修繕と備品の更新について、計画的に実施したい。 ▼利用者に親切で丁寧な対応を心掛け、気持ちよく利用していただける施設となるよう、職員のスキルアップを図る。

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
収支状況が安定しており、積極的な利益還元が実施されていることが高く評価できる。利用者からも高い総合満足度を得ており、適切な運営が行われているといえる。今後も幅広い層をターゲットとした事業展開や広報活動などにより、貸室利用率の向上に繋げていっていただきたい。	